



Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて！～

漢方の考え方

先日、漢方薬局を18年間経営されているノムラ薬局の野村卓也氏をお招きし、「次世代の薬剤師を創る会」でキャリア講演をしていただきました。ドラッグストアや調剤薬局での勤務を経て、漢方の道へ進まれた経緯や、漢方の考え方についてお話しいただきました。

今では国家試験にも漢方が出題されます。講演では、まず舌を診ることの大切さや、「同病異治（同じ病気でも治療法が異なる）」、「異病同治（異なる病気でも治療法が同じ）」という考え方を学びました。例えばアトピー、喘息、不眠、便秘を抱え、さらに妊婦中の方がいるとします。西洋医学では皮膚科、呼吸器科、内科、婦人科と別々に受診する必要がありますが、漢方なら全てを包括して「一度に処方できる」という利点があります。

また、患者さんへの問診では「どういう時にひどくなり、どういう時に楽になるか？」を必ず聞くそうです。その返答から、不調の根本原因を探っていくというお話には、なるほどと膝を打ちました。参加者は薬学生からベテラン薬剤師まで幅広く、全員が興味深く聞き入っていました。終盤に具体的な漢方名が出た際は、学生にとって既知のものも、初めて聞くものもあったかと思います。

今回は10月10日15時半から、74店舗のドラッグストアを展開するサンキュードラッグの平野健二社長にご講演いただきます。ご興味のある方はぜひご連絡ください。